

中日ニュース

シネスコ版

中日=2-ス10198

本誌1=可じ

No. 522

39. 1. 17

一、エレクトロニクス時代

—東京

おしやれの町、銀座にお目見得した美容相談機なる電子計算機。

ご婦人の最大関心事はなにがなんでも美しくなりたいということとあって機械の前にははなやかな人垣があつたとちません。ともかくこの機械は大変なもので、業者のPR作戦のこの美容相談、機械に弱いご婦人にまんまと成功したようでした。

あなたまかせの、機械まかせ何事もお手軽がありがたがられる当世、美容相談ばかりかゴルフも例外ではありません、電子頭脳を使つてのインドアゴルフを楽しもうというもの、いよいよ町にも電子時代がやってきましたようです。

一、百万人の清掃作戦

今年はおリンピックの年。

東京では十日を美化デーと決め、よごれ行く東京を美しくしようと呼びかけました。

この日東都知事もホウキを手に庁舎の庭を清掃、自から陣頭指揮。

中でも自衛隊は市谷、練馬両駐とん部隊から一万人が動員され美化デーに一役買っていました。

そして都民も公園、道路などに二百五十団体、約百万人が繰り出し都政史上最大の清掃作戦となつたのです。

アイモ風土記

一、石の村

—香川

源平の合戦で知られた瀬戸内海沿岸のちっばけな漁村でしたが裏山から良質の石材がとれることがわかってからは、をつづけています。

その昔は瀬戸内海沿岸のちっばけな漁村でしたが裏山から良質の石材がとれることがわかってからは、「石の村」に転向。

いまでは八千人の住民のうち千五百人が石工、ほとんどの住民たちが石で生計をたてています。

そして石材加工の熟練工を養成するためにゼミナールを設けるなど大変研究熱心。これが今日の成功を生んだものでしょう。

さらに村の一部の業者たちは石で得た利益でホテルを建設して観光開発にのりだすなど人々のためな努力で庵治村は大きな飛躍をつづけています。

6320R

336

150

146